

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成27年 3月30日

計画の名称	5 桑名・員弁・四日市生活創造圏における道路ネットワークの整備と安心安全でにぎわいのあるまちづくり									
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）			交付対象	桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町、四日市市、菟野町、川越町、朝日町					
計画の目標	地域交通を安全かつ効率的に処理するための道路ネットワークを整備し、併せて沿道施設の利用促進と災害に備えた防災対策機能を強化することにより、安全・快適に生活でき地域が活性化するまちづくりを目指す。									
計画の成果目標（定量的指標）	主要幹線道路へアクセスする道路の平均走行速度の向上。 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率の向上。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)				
幹線道路とアクセス不便地間における平均走行速度の算出 平均走行速度 = アクセス経路の全延長 ÷ (アクセス経路の整備済み区間の走行時間 + アクセス経路の未整備区間の走行時間)				20Km/h	21Km/h	30Km/h				
対象市町内の年間死傷事故件数を計画期間内において1割削減する。 対象市町内の年間死傷事故件数				4,220件	4,010件	3,790件				
沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率を算出 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区率(%) = 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区数 ÷ コミュニティ地区数 × 100 (%)				0%	31%	56%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,093百万円	A	6,542百万円	B	0百万円	C	1,551百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.2%

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期		事後評価の実施時期	
事後評価の実施体制		平成27年3月	
交付対象市町において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施		公表の方法	
		各市町ホームページ等により公表	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
5-A1	道路	一般	桑名市	直接		市町村道	改築	(他)上之輪12号線	バイパス L=440m	桑名市						2	
5-A2	道路	一般	桑名市	直接		市町村道	改築	(1)坂井多度線	バイパス L=1,354m	桑名市						426	
5-A3	道路	一般	桑名市	直接		市町村道	改築	(他)福吉都羅線	現道拡幅 L=160m	桑名市						4	
5-A4	道路	一般	桑名市	直接		市町村道	交安	(2)桑部東金井2号線	歩道整備 L=620m	桑名市						101	
5-A5	道路	一般	いなべ市	直接		市町村道	改築	(他)笠田新田坂東新田線	バイパス L=1,850m	いなべ市						547	
5-A8	道路	一般	いなべ市	直接		市町村道	改築	(他)大井田3区292号線	バイパス L=920m	いなべ市						580	
5-A9	道路	一般	いなべ市	直接		市町村道	改築	(他)笠田新田中央線	現道拡幅 L=200m	いなべ市						0	
5-A10	道路	一般	東員町	直接		市町村道	交安	(1)穴太南北線	歩道整備 L=660m	東員町						232	
5-A11	道路	一般	東員町	直接		市町村道	交安	(1)大木八幡新田線	歩道整備 L=353m	東員町						55	
5-A12	道路	一般	木曾岬町	直接		市町村道	交安	(1)鍋田川線	歩道整備 L=567m	木曾岬町						31	
5-A13	道路	一般	木曾岬町	直接		市町村道	交安	(他)加路戸・新加路戸線	歩道整備 L=333m	木曾岬町						90	
5-A14	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	改築	(他)山村平津線	バイパス L= 324m	四日市市						358	
5-A15	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	改築	(他)垂坂1号線	現道拡幅 L= 450m	四日市市						134	
5-A16	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	改築	(他)小杉新町2号線	バイパス L= 490m	四日市市						86	
5-A17	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	交安	(1)露ヶ浦羽津山線	歩道整備 L= 150m	四日市市						94	
5-A18	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	交安	(1)金場新正線	自歩道整備 L=1,240m	四日市市						115	
5-A20	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	修繕	(他)曾井尾平線	路側修繕 L=1,275m	四日市市						19	
5-A22	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	修繕	(1)子西八王子線(海山道跨線橋)	耐震補強 L= 187m	四日市市						74	

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
										H21	H22	H23	H24			H25
5-C1	水路整備	一般	桑名市	直接		河川局改	砂出川河川局改良事業	河川局改良L=300m	桑名市						62	
5-C4	施設整備	一般	いなべ市	直接		救急車購入	救急医療車両購入事業	救急車、機材の購入	いなべ市						12	
5-C5	公共交通	一般	いなべ市	直接		福祉バス購入	福祉バス購入事業	バス購入5台	いなべ市						15	
5-C6	施設整備	一般	いなべ市	直接		駅前整備	大泉駅前整備事業(バスベイ等)	施設整備 0.3ha	いなべ市						0	
5-C7	施設整備	一般	いなべ市	直接		避難所整備	員弁地区防災拠点整備事業	施設整備 1.8ha	いなべ市						34	
5-C9	施設整備	一般	東員町	直接		側溝整備	鳥取地内雨水排水対策事業	排水路整備L=1500m	東員町						29	
5-C11	施設整備	一般	東員町	直接		バス停整備	町内巡回バス停整備事業	バス停、待合所の整備	東員町						10	
5-C12	施設整備	一般	東員町	直接		バリアフリー化	文化センター広場整備事業	入口通路整備	東員町						33	
5-C13	公共交通	一般	木曾岬町	直接		路線バス購入	地域公共交通強化事業	バス改造購入 1台	木曾岬町						10	
5-C14	公共交通	一般	木曾岬町	直接		バス停整備	地域公共交通強化事業	バス停、駐輪場整備	木曾岬町						2	
5-C16	施設整備	一般	四日市市	直接		歩道・駐車場整備	久留倍遺跡整備事業	歩道、駐車場、調整池等の整備	四日市市						262	
5-C17	駅前整備	一般	菰野町	直接		駅前整備	菰野駅前整備事業(バスベイ等)	A=2,000m ²	菰野町						148	
5-C18	施設整備	一般	菰野町	直接		公園整備	東町公園整備事業	A=1,000m ²	菰野町						13	
5-C19	施設修繕	一般	菰野町	直接		公園施設修繕	公園施設修繕事業	公園施設修繕	菰野町						1	
5-C22	施設整備	一般	菰野町	直接		防犯灯整備	防犯灯整備事業	防犯灯等の整備	菰野町						14	
5-C23	施設整備	一般	菰野町	直接		観光施設整備	観光情報提供システム構築事業	情報提供盤等の整備	菰野町						3	
5-C24	社会実験	一般	菰野町	直接		社会実験	バーグランドライト 社会実験事業	バーグランドライト 社会実験	菰野町						7	
5-C25	計画検討	一般	菰野町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=43橋(L=15m未満)	菰野町						6	
5-C26	施設撤去	一般	菰野町	直接		施設撤去	老朽化施設撤去事業	配水タンク撤去 1箇所	菰野町						20	
5-C29	施設整備	一般	桑名市	直接		消防車両購入	消防車両購入事業	消防車両購入 5台	桑名市						51	
5-C31	施設整備	一般	東員町	直接		バリアフリー化	役場前通路整備事業	入口通路整備	東員町						43	
5-C32	計画検討	一般	桑名市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=602橋	桑名市						4	
5-C33	計画検討	一般	いなべ市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=90橋	いなべ市						2	
5-C34	計画検討	一般	東員町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=137橋	東員町						6	
5-C35	計画検討	一般	四日市市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=152橋	四日市市						20	
5-C36	計画検討	一般	菰野町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=49橋	菰野町						2	
5-C37	計画検討	一般	川越町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=5橋	川越町						1	
5-C38	計画検討	一般	木曾岬町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=11橋	木曾岬町						2	
5-C41	計画検討	一般	いなべ市	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=98橋	いなべ市						2	
5-C42	計画検討	一般	川越町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=72橋	川越町						4	
5-C43	計画検討	一般	朝日町	直接		計画・調査	長寿命化修繕計画	N=25橋	朝日町						5	
5-C44	施設整備	一般	四日市市	直接		公共サイン整備	近鉄四日市駅公共サイン整備事業	案内看板設置 N=11基	四日市市						10	
5-C45	施設整備	一般	菰野町	直接		駐車場整備	湯の山駐車場整備事業	駐車場整備 A=3550m ²	菰野町						29	
合計														862		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
5-C1	地方道路整備事業及び新名神高速道路と一体的に流末となる砂出川の局部改良を実施することで、道路整備による排水系統の変更に対応するとともに災害の発生を未然に防ぎ通行者及び周辺住民の安全を確保する。															
5-C4	緊急車両及び機材を新規配備することで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等の防災機能を向上させ地域住民の安心・安全を確保する。															
5-C5	新規に福祉バスを購入し運行することで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、交通弱者対策と市内交通網の充実を図り、生活利便性と安全性を向上させる。															
5-C6	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、駅前広場を整備することで円滑で安全な道路交通を確保するとともに生活利便性を向上させ地域の活性化に繋げる。															
5-C7	高校跡地を地域防災拠点・仮設住宅用地として整備することにより、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって大規模災害に備えた防災機能を強化し住民の安心・安全を確保する。															
5-C9	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体的に、他管理者道路の排水路整備を行うことで路面冠水を防ぎ通行者及び地域住民の安全な生活を確保する。															
5-C11	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、町内を循環しているコミュニティバスのバス停を整備することで道路交通の円滑で安全な環境を構築する。															
5-C12	(5-A10)(5-A11)の歩道整備と一体的に、公共施設のバリアフリー化(道路から入口まで)を行うことにより利用者の利便性・安全性を向上させる。															
5-C13	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、福祉バスを新規に購入し運行することで町内交通網の充実を図り交通弱者の安全と利便性を確保する。															
5-C14	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、コミュニティバスのバス停と利用者用駐輪場を一体整備することで、通行者・バス利用者双方の安全性・利便性を向上させる。															
5-C16	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体的に、遺跡公園の駐車場を整備し道路利用者への休憩施設の提供と利用促進を図ることで地域の活性化に繋げる。															
5-C17	(5-A36)と一体的に駅前広場を整備することにより、円滑で安全な道路交通を確保するとともに生活利便性の向上させ地域の活性化に繋げる。															
5-C18	(5-A36)と一体的に既存の公園に耐震貯水槽等を整備し避難地として施設強化を図ることで、平常時は休憩施設として、災害時には道路利用者も含めた地域の避難地とすることで町中心部の安全を強化する。															
5-C21	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、駅前の違法駐輪対策として駐輪場を整備することで道路利用者の安全で快適な道路利用を促進する。															
5-C22	地方道路整備事業と一体的に防犯灯整備を行ない、通行者および地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化し、安全で安心なまちづくりを行う。															

5-C23	観光案内情報を提供することで観光施設までの経路把握を容易にすることで、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって道路交通の円滑で安全な環境を構築するとともに、観光産業の活性化を促す。
5-C24	パークアンドライド社会実験により、観光地周辺の渋滞緩和や環境負荷の低減の可能性を調査し本格導入の適否を検証するとともに、今後の地方道路整備計画策定の参考資料に利用する。
5-C25	15m未満の橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C26	道路に隣接する老朽配水施設を撤去することで倒壊による道路災害、それに伴う孤立集落の発生を未然に防ぎ、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって安全な道路環境を構築する。
5-C29	消防車の高機能化により地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等の防災機能を向上させ地域住民の安心・安全を確保する。
5-C31	(5-A10)(5-A11)の歩道整備と一体的に、公共施設間を繋ぐ役場前通路を設置、バリアフリー化することにより利用者の利便性・安全性を向上させる。
5-C32	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C33	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C34	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C35	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C36	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C37	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C38	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C41	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C42	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C43	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。
5-C44	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、重要な交通結節点である近鉄四日市駅を中心に、他の交通機関への乗換えや公共施設及び観光施設への案内板設置を行い目的地までの経路把握を容易にすることで、市民及び外来者が円滑に移動できる環境が構築できる。
5-C45	(5-A74)の路側修繕事業による観光客を中心とした道路利用者の歩行空間整備と一体となって観光客用駐車場を整備することにより、町道湯の山温泉線及び一般国道477号上の違法駐車防止を図り、安全で快適な道路空間を創出できる。

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・市道坂井多度線のバイパス整備を行った結果、旧桑名地区と多度地区のアクセス道路として交通の利便性が向上した。 ・市道大井田3区292号線のバイパス整備を行った結果、企業へのアクセス道路として利便性が向上し、また、交通の流れがスムーズになり地域住民の安全性が向上した。 ・市道垂坂1号線の現道拡幅を行った結果、接続する北勢バイパスと連携することで周辺企業の物流機能が向上し、産業活動の活性化が図られた。 			
定量的指標の達成状況	指標（平均走行速度の向上）	最終目標値	30 km/h	目標値と実績値に差が出た要因	一部の要素事業において、境界確定の難航等により用地取得に時間を要したことや、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。
		最終実績値	29 km/h		
	指標（年間死傷事故件数）	最終目標値	3,790件	目標値と実績値に差が出た要因	交差点改良や歩道整備、カラー舗装など交通安全事業の推進により、歩行者の安全な通行空間や、一般交通のスムーズな通行を確保し、地域交通の安全性向上に寄与した。
		最終実績値	3,245件		
	指標（生活環境向上、防災機能強化が図れた地区整備率）	最終目標値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	56%		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・町道加路戸・新加路戸線等の歩道整備を行った結果、歩車道分離により歩行者の安全性が確保された。 ・市道江場安永線の交差点改良を行った結果、慢性的な渋滞が解消され、また、歩行者の安全を確保することができた。 ・町道西孤野10号線(山神橋)等の耐震補強を行った結果、地震等災害時の交通機能の確保が図られ、災害活動の円滑性や地域住民の安全性が向上した。 ・橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、円滑なメンテナンスサイクルを構築し効率的かつ効果的な橋梁修繕を図ることができた。 			

3. 特記事項(今後の方針等)

事業継続中の箇所について、早期に事業効果が発現できるよう事業進捗を図るなど、引き続き計画的な道路整備を推進し、地域が活性化するまちづくりを目指す。